

学びのフォーラム

<12>

なぜ勉強するの？

勉強するといふことは「手段」であって「目的」ではない。将来自分が何をしたいのかというビジョンを描いて夢を持つことが「目的」であり、その夢を

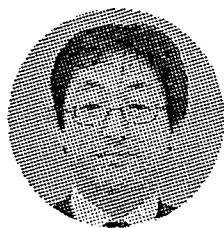
現するための「手段」が勉強である。「夢」があれば「目標」ができ、「目標」があれば「計画」が立てられる。その「計画」の実行の一部が勉強である。

われる。

一方、大学進学を希望している高校生ではどうだろうか。高校生に「なぜ、勉強しているの？」と聞いてみたところ、「や

品開発に携って自分の提案した商品が普及すること。だからそのために社会に出たとき役立つ引き出しを多くするため」(高2女子)、「将来教師になって多

夢実現への「手段」



中萬学院
大学受験指導事業部長 井川 隆成

初めて自分の将来進むべき道を考えるようになるのが、小学校高学年から中学生のころである。しかし、そのころの年齢では具体的考慮に欠け、曖昧とした考え方になる場合がほとんどで、これは無理難題であると思

らなきゃいけない。社会で生きていくルールだから」(高2男子)、「将来やりたいことに出合ったとき、勉強をしていないがためにできなくなったら困るから」(高2女子)と漠然とした返答もあれば、「将来の夢は食

くの人を育てたい。そのための教養やコミュニケーションスキルを知っておかなければならぬから」(高3男子)と明確な将来像を描いて勉強していたりもしている。

子供を取り囲むさまざまな環境によって思考形成に差が生じ、実際には勉強を目的にしていたり、手段にしていたりさまざまなのが現実である。

学校教育における高等学校までの勉強と、大学生や社会人になってからの勉強では大きく異なる。前者は敷かれたレールの上での行動、後者は自分でレールを敷くことから始まり、社会人では自己実現のためにより一層勉強は本格化してくる。

だから個人間の格差も拡大する。松下幸之助翁曰く、「2日間の休日は1日教養1日休養」。教養＝勉強と置き換えれば、年齢を重ねるごとに、そのことを実感するであろう。